



South Miyagi Medical Center

中核だより



臨時ヘリポートへの患者搬送



震災時スタッフミーティング



震災時診療の様子①



震災時診療の様子②

病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

病院方針

1. 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
2. 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
3. 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
4. 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

主な内容

新たな病院機能と経営形態の見直し	② ページ
救命救急センター・腫瘍センター設立に向けて	③ ページ
東日本大震災における当院の活動について	⑦ ページ



新たな病院機能と経営形態の見直し

管理者(大河原町長) 齋 清 志



新緑の候から初夏へ、いつもと変わらない季節の移ろいですが、一歩沿

岸部に足を向けると、がれきの山や基礎しか残っていないような家の残がいなど、未曾有の災害の痛ましい爪痕が延々と残ったままです。亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

中核病院は、この度の大震災では災害拠点病院として持てる機能を最大限に発揮し、院長始め職員一同救命活動に全力を尽くしたことは、私の大きな誇りです。また、今回の対応に鑑みて強く感じたことは、当院には仙南のみならず、より広域的な『地域完結型医療のセンター病院』としての役割の確立が、一日でも早く求められているということでした。

そのためには、平成21年3月に策定した「改革プラン」に掲げる新たな取り組みについて、しっかりと実現を図ることが大切です。

まず一つ目の取り組みは、既に準備が進められている『地域救命救急センター(国の地域医療再生基金事業)』と地域がん診療連携拠点病院指定につながる『腫瘍センター(当組合の単独事業)』設置です。前者は平成24年冬、後者は平成25年春の開設を目指し段取りが進められているところで、大いに期待して頂きたいと考えております。

そして、もう一つは、当院の経営形態の「全適」への移行です。現在、中核病院の経営形態は地方公営企業法の財務規定だけが適用される一部適用で、病院事業の管理者は首長が兼ねることになっています。その経営形態を地方公営企業法の全部適用にすることで、病院事業管理者が病院開設者(首長、組合管理者)に代わって組織や人事、契約等に独立した権限を有することで柔軟な経営を行うこと

ができ、意思決定や事務手続が迅速化されるなど、これからの時代に相応しい形態といえます。

当院の改革プランにおいては、平成22年度以降に法的な手続きの検討に入り、24年度までの移行を目指すとしてきました。具体的には、病院事業管理者の実質的な権限責任を明確化したうえで、スピーディな対応と経費全体の見直しを検討するものです。

もちろん、行政の病院への関わりや病院利用の在り方が変わるわけではありません。しかし、首長が自治体病院管理者を務めることには、最早限界があることを私自身が強く実感しているところです。病院機能を一気に高めようという今この時期だからこそ、県内外の数多くの先駆的病院に倣ったスムーズな移行が重要となっています。この計画についての詳しい説明については、病院組合議会並びに地域住民の皆様への説明責任をしっかりと果たすつもりですので、是非ご理解を願う次第です。

先般、東京に置いて『全国自治体病院開設者協議会』の総会が開催されました。私も宮城県の会長として出席したところ、他の地域のかたより震災や原発被害に対する温かい励ましを数多く頂きました。改めて、地域医療の最後の砦である自治体病院の一日も早い復興を切に願うとともに、今後果たしていく当院の大きな役割に対し、地域住民の皆様の温かいご理解とご支援を、心より期待するところです。(5月27日記)



救命救急センター・腫瘍センター設立に向けて



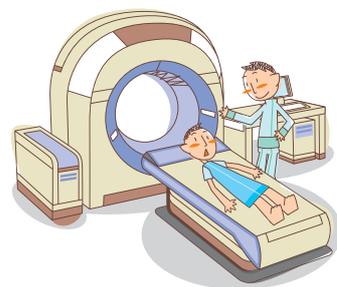
みやぎ県南中核病院 院長 内藤 広郎

大震災後、お陰様で当院は大きな損壊もなく比較的早期に通常診療にもどることができました。今年8月には開院9年目を迎えるにあたって、今後の大きな目標として、当院が救命救急センターおよび腫瘍センターとして機能して行くことがあげられます。今回は、これまでの経緯と今後の予定についてご報告いたします。

平成21年度、政府は経済危機対策として財政支出15兆円を伴う大規模な補正予算を成立させました。その中で、崩壊しつつある地域医療をたてなおすため、厚労省は総額2,350億円の対策費を組みました。この予算は、地域医療再生基金として各都道府県に配分されましたが、宮城県には計50億円が充当されました。そのうち、県全体にかかわる医療再生事業計画以外に地域医療整備の重点地区として県北と県南が指定され、これらの再生計画を全て総合して宮城県医療再生計画が策定されました（平成22年1月）。このうち、県南の医療整備には約18億円が計上されました。そのなかで、救急医療に関しては、平成25年度までに仙南地域の2次・3次救急医療整備のために当院を救命救急センター化すること、および公立刈田総合病院の2次救急医療機能強化が盛り込まれました。

一方、当院はすでに平成18年3月に「みやぎ県南中核病院将来構想計画」を策定しています。その中に重点項目が5項目ありますが、病院の診療機能にかかわる項目が2つあります。そのうちの1つが当院に救命救急センター機能を付加すること、もう1つが地域がん診療連携拠点病院（以下、がん拠点病院）として機能することです。さらに、これらの2項目は平成21年3月に策定された公立病院改革ガイドラインに基づく当院の改革プランの中にも明確な目標とされておりますので、

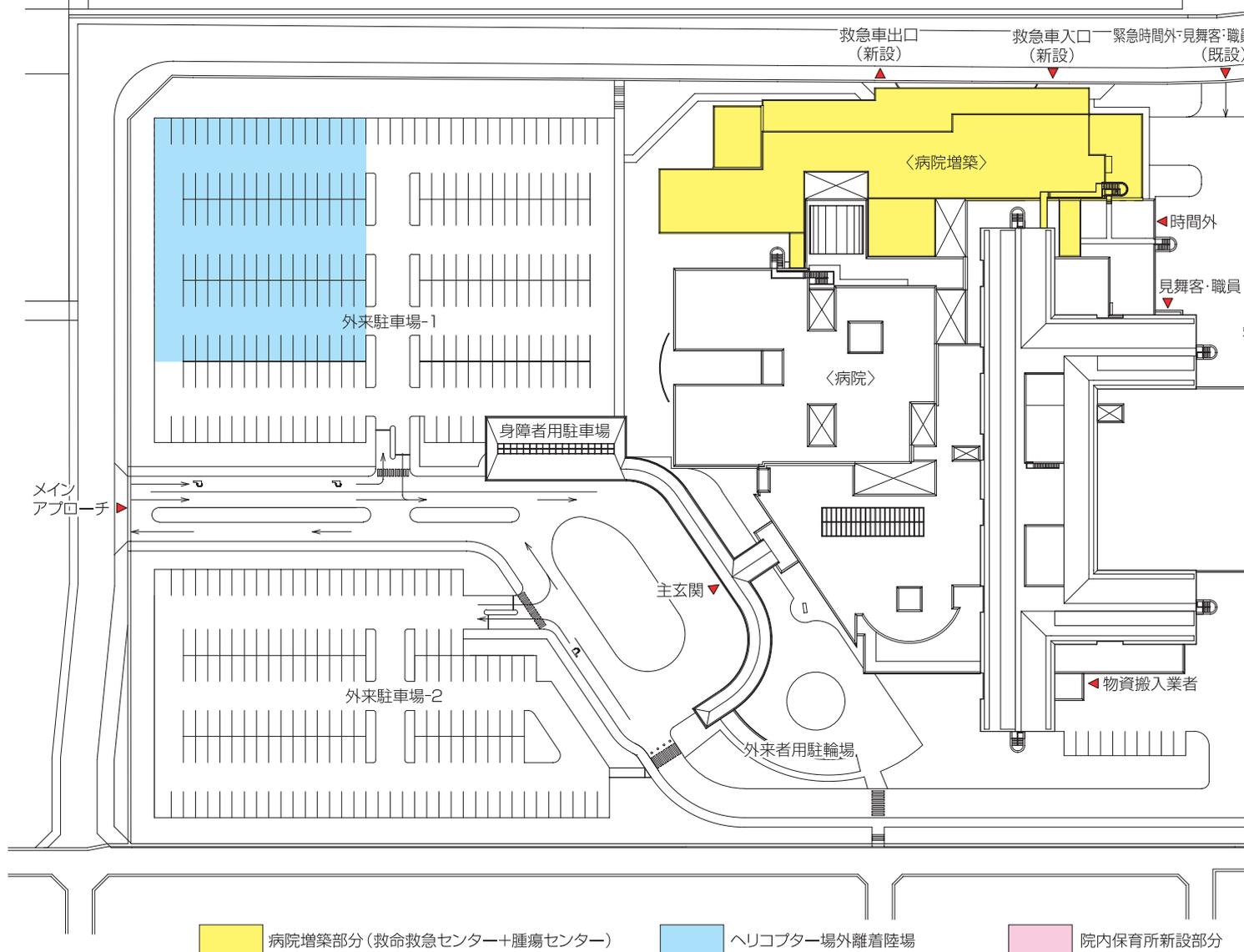
これまでも救命救急センターのみならずがん拠点病院を目指して準備を進めて参りました。したがって、今回の地域医療再生計画に救命救急センター構想が盛り込まれたことはこれらの重点項目達成に向けて大きく前進したことになります。それに対してがん拠点病院構想は、わが国において世界に類を見ない高齢化社会が進展するなか、近い将来には全国的にがん患者数が大きく増加することがわかっておりますので、準備は進めて参りましたが、まだ具体的な将来像が見えていない状況にありました。がん治療の3本柱は薬物治療、外科的治療、放射線治療ですが、これからは欧米諸国同様に放射線治療の比重がどんどん増えていくことが予想されています。これらを反映して、がん拠点病院は放射線治療装置が稼働していることが必須条件となっております。しかし、残念ながら現在は仙南地域には放射線治療装置のある医療施設は存在しないため、このままではがん拠点病院が仙南地区に設置されないこととなります。したがって、当院としては特にがん拠点病院機能整備のために地域の自治体病院としては全国的に見ても先進的と言えますが、早期から診療科として腫瘍内科を開設して専門性の高い抗がん剤治療や緩和医療を提供してきました。それらの歴史をふまえ、「仙南地域にがん拠点病院を」の合い言葉のもとに放射線治療装置、抗がん剤治療を行う専門の外来（外来化学療法室）およびがん終末期の医療を担当する緩和病棟の3つを備えた腫瘍センターを設置することが平成21年3月策定の改革プランに盛り込まれています。



この度、大変ありがたいことですが救命救急センター設置は地域医療再生計画で予算が配分されました。一方、腫瘍センターについては予算確保の議論もなされておりませんでした。しかし、これらの2つのセンター設立は同じように増改築や人材確保を必要とするものでありますので、理想的には時期を合わせて開設を目指していくことが望まれます。そのため、この点について当保健医療組合の管理者会議において繰り返して議論をしていただき、平成22年8月には救命救急センター設立事業と時期を合わせて腫瘍センターの設立を目指すこと、および腫瘍センター部分の建設費は構成自治体である1市3町で負担することが合意されました。

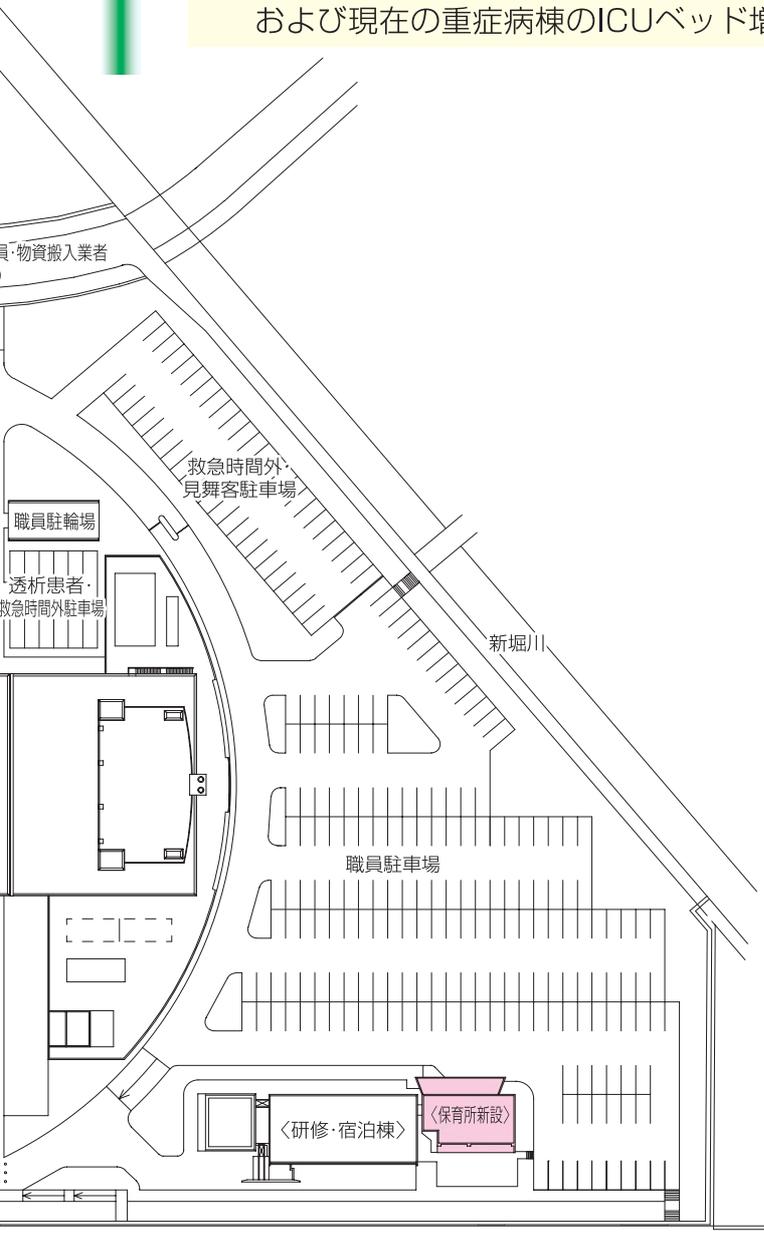
これらの医療再生計画の策定や構成市町の合意をうけて、当院が主導となり平成22年10月から平成23年2月まで、みやぎ県南中核病院救命救急センター設立準備委員会（委員長は東北大学医学部救急医学講座久志本茂樹教授）および同腫瘍センター設立準備委員会（委員長は当時の東北大学病院放射線治療科山田章吾教授）をそれぞれ3回、2回に渡って開催しました。地域の病院や診療所の医師代表、先行病院の代表、行政、住民の代表など関係する多くの方々にメンバーとなっただき以下の様な基本方針が決まりました。

No.1 配置図



- 1 現在当院救急外来駐車場部分に新しく救命救急センターと腫瘍センターの機能中枢部分を有する診療棟を増築する。
- 2 正面駐車場の一部を緊急時のヘリポートとして使用できるように改修する。
- 3 職員駐車場の一部にこれらのセンター機能を維持するための職員確保の一環として院内保育所を新設する。
- 4 新しい診療棟の1階部分は北側に救急センター機能、南側に腫瘍センター機能を配置する。2階部分は腫瘍センター機能、管理部門機能とする。
- 5 救命救急センターは新しい診療棟に拡充して設置する救急外来とスタッフルームおよび現在の重症病棟のICUベッド増床

- などで構築する。これにともない、新しい救急外来に新たに診断用CTを導入する。
- 6 腫瘍センターは、1階部分に新規導入する放射線治療装置、外来化学療法室（14床）および2階部分の緩和病棟（12床）で構築する。
- 7 現在の救急外来部分は新しいMRI室、地域連携室、ロッカー室、ボランティア室、在宅救急歯科支援センター室などに改築転用する。
- 8 救命救急センター化にともない増加することが予想される緊急内視鏡検査、緊急超音波検査、急性期リハビリテーションのために内視鏡検査室、超音波検査室、リハビリ室の拡充整備を行う。
- 9 医師はじめ医療スタッフの増員およびそれに伴う研修機能向上のため、医局を拡充し、研修関連のスペースを増加させる。これにともない、事務部門を分散移転し、そのために必要なスペースを確保する。

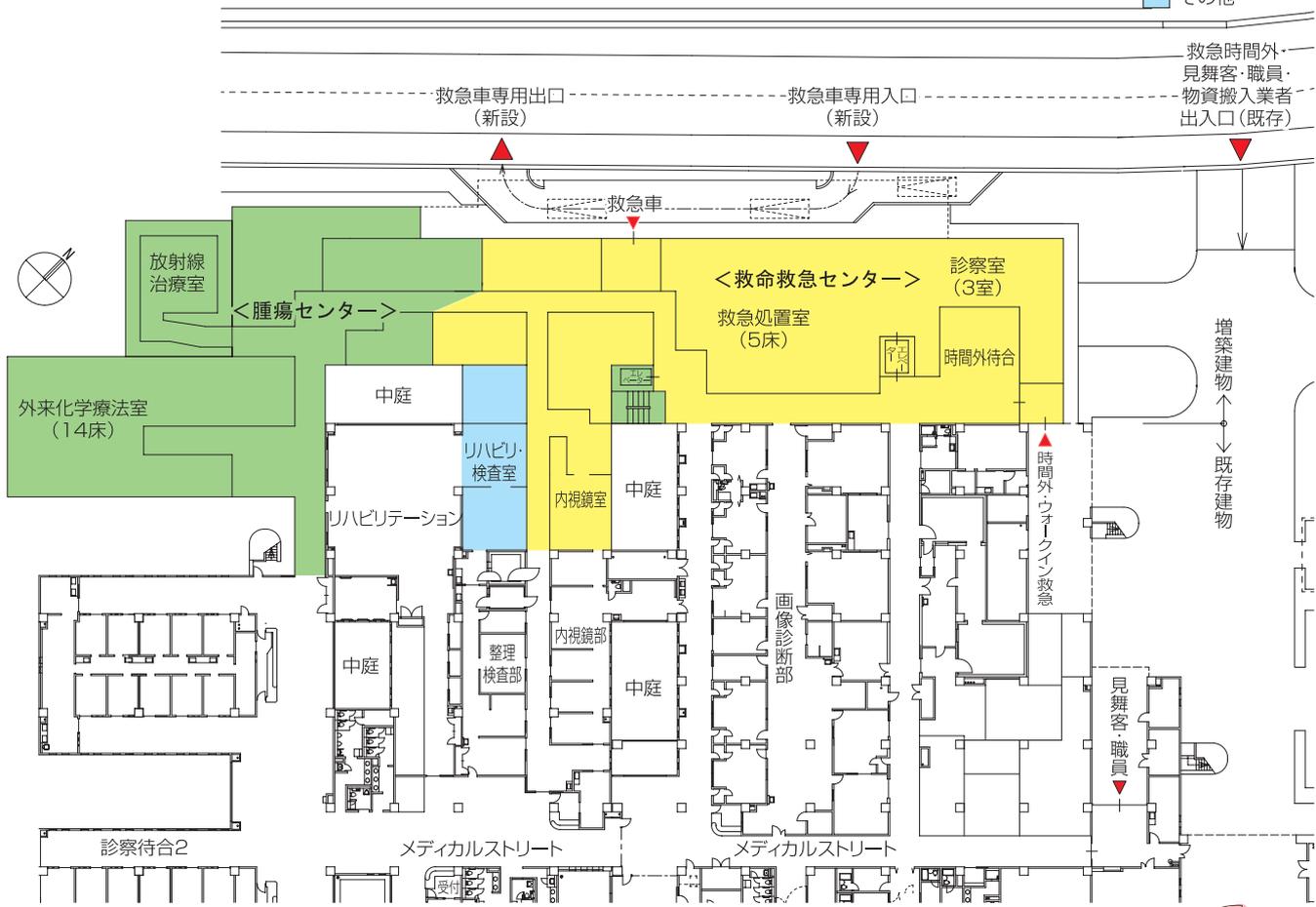


以上の様なコンセプトに基づき、図に示したような基本設計ができておりますので、本年秋以降に建設、改修工事が始まり、救命救急センターは平成24年冬、腫瘍センターは平成25年春の開業を目指す予定です。従いまして、今後は増改築に関連する工事やさらには先の震災により破損した箇所の修繕工事などが始まりますので、病院を利用されるみなさまにはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、県南に対して配分された地域医療再生基金については、仙南地域における時間外1次救急診療システムの構築、病院間の診療情報共有システムの構築などの事業も含まれていますが震災の影響もあり具体的な協議が遅れております。今後、宮城県医療整備課の指導をいただきながら地域内での検討が進んでいくと思いますので、方向性が明らかになり次第、随時お知らせしていきたいと思っております。少々、長くなりましたが、救命救急センターと腫瘍センター設立に向けての経緯と方向性についてご報告いたしました。

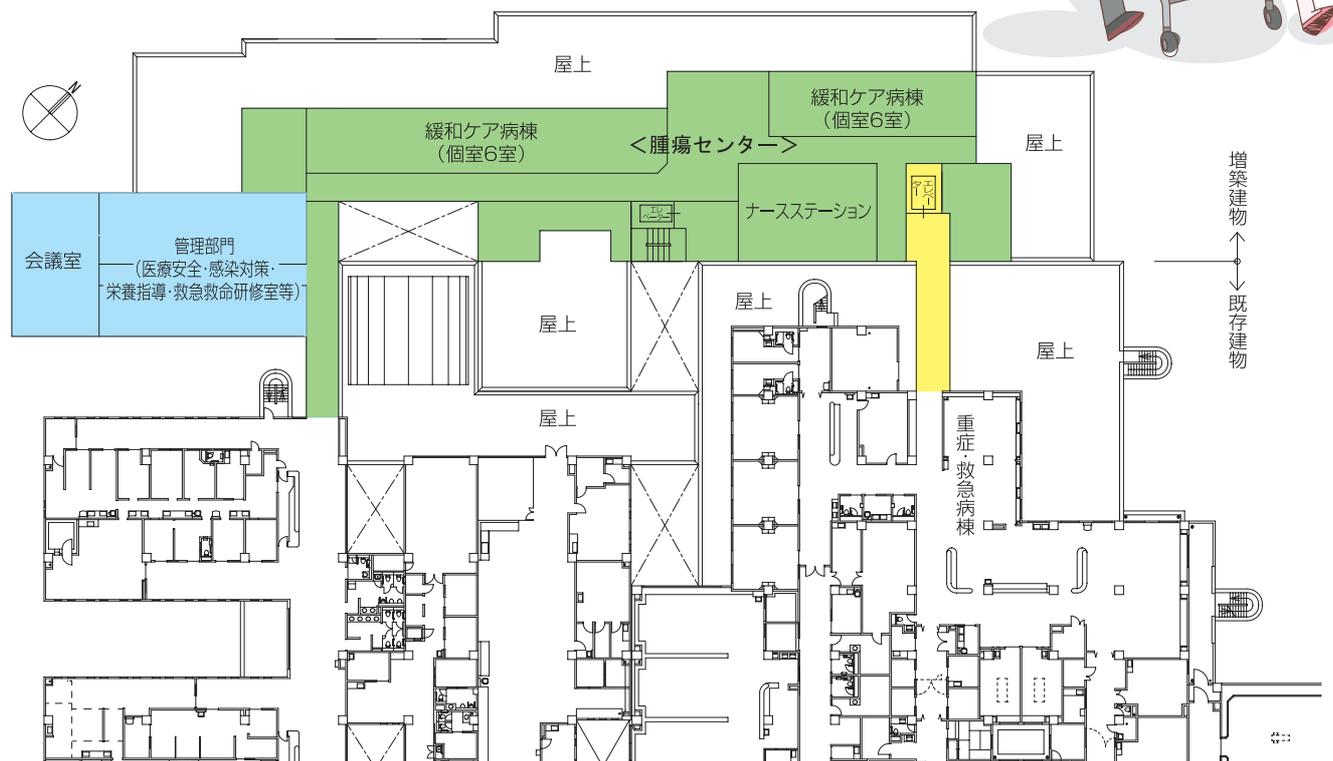
No.2 1階平面図

- 救命救急センター
- 腫瘍センター
- その他



No.3 2階平面図

- 救命救急センター
- 腫瘍センター
- その他



東日本大震災における当院の活動について



救急診療部長 川 上 一 岳

今回の大震災で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

当院は災害拠点病院の認定を受け、さらには災害派遣医療チーム（DMAT）も有しております。訓練は怠りなくやってきたつもりですが、実際にこのような大災害に直面するのは初めてでした。幸い当院には大きな被害もなく、発災直後から緊急時の医療活動を開始することができました。周辺地域ではライフラインが絶たれたため、医療の必要な人はすべて受け入れるという方針で臨みました。

周辺のみならず、津波の被害を受けた地域からも空路で大勢運ばれてくることを想定し、駐車場の一部を使ってヘリポートを開設いたしました。しかし、運ばれてきた方の多くは閑上の施設に取り残された寝たきりの高齢者と家の2階や屋上に取り残された健康な避難者でした。そういう方々は周囲の老人施設や町が開設した避難所などをお願いし、あくまでも急性期医療に徹しました。一次診療については早くから診療所の先生方にご協力をいただくことができ、当院は普段通りに重症の方々に重点を置いた診療をすることができました。被災した亘理、山元地区も含めて今までにない数の救急車が来院しましたが、問題なく受け入れることができました。受診者は外傷ではなく、肺炎や脳梗塞といった内科的疾患ばかりでした。

周辺の透析医療機関に加えて、被害を受けた岩沼からも毎日80人以上の透析患者さんを受け入れました。また、在宅酸素療法中の患者さん約50人や在宅で人工呼吸器を用い

ている患者さんなどもすべて受け入れました。他地域では病院に避難者が多数押しかけ、携帯電話の充電をさせると要求したりして、診療の妨げになったところもかなりあったようです。そんな中、当地区の皆様には秩序ある行動をしていただいたおかげで、私どもは診療に集中することができました。また、ヘリポートの維持にあたっては地元ボランティアの方々の多大なご協力をいただきました。寒い中、また、原発による放射能の心配もある中で連日ご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

地域医療の要として、今後も災害に対する備えを怠ることなく、緊急時にも十分な医療を行えるように努力してまいります。これからもご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2011年7月予定

診療科		受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	非常勤医師	坂田芳之	非常勤医師	×
	甲状腺 (第1・3・5火曜)	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	×	×
	一般・腎・膠原病	8:00~11:00 (9:00~)	佐藤 仁	×	非常勤医師	佐藤 仁	×
	腎・膠原病	13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	×	×	佐藤 仁	×
	膠原病 (第2・4金曜)	12:30~15:00 (13:00~)	×	×	×	×	非常勤医師
循環器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	堀口 聡	×	富岡智子	塩入裕樹	井上寛一
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	塩入裕樹	井上寛一	堀口 聡	×	富岡智子
消化器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	飯岡佳彦	藤坂/三浦	大沼 勝
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	大沼 勝	三浦雅人	梅村 賢	阿曾沼祥	飯岡佳彦
	肝臓(紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	×	×	三浦雅人
腫瘍内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	二井谷友公	杉山克郎	杉山克郎	二井谷友公	杉山克郎
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	杉山/担当医師	杉山/担当医師	杉山/二井谷	非常勤医師	担当医師/二井谷
呼吸器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	山田紀広	岡田信司	岡田信司	山田紀広
	再来	8:00~11:00 (9:00~)		×	×	×	×
	呼吸器腫瘍 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	非常勤医師(隔週)	×	×
神経内科	新患(予約優先)	8:00~11:00 (9:00~)	望月 廣	望月 廣	望月 廣	当番制	望月 廣
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	×	×	澁谷 聡	望月 廣	及川崇紀
外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	力山/有明/高橋	後藤慎二	赤田昌紀	上野達也	佐藤 俊
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	高橋/赤田	上野達也	佐藤/内藤/有明	高橋道長	後藤慎二
	呼吸器外科 第1・3・5火曜 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	×	非常勤医師	×	×	×
	血管外科 第2・4木曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	非常勤医師	×
	乳腺外科 第1火曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	×	×
	ストマ外来 (第1木曜) (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	×	×	×	内藤広郎	×
	肛門外来 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	×	×	内藤/上野	×	×
脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	×	荒井啓晶	荒井啓晶	荒井啓晶	
整形外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	×	橋本禎敬	×	李 榮茂	岡田 篤
	再来	8:00~11:00 (9:00~)	李/橋本/岡田 (予約のみ)	李 榮茂	×	岡田 篤	橋本禎敬
形成外科	8:00~11:00 (8:30~)	澤村/庄司	澤村/庄司	澤村/庄司	×	澤村/庄司	
皮膚科	新患	8:00~11:00 (8:30~)	×	笹井 収	×	笹井 収	笹井 収
	再来	8:00~11:00 (8:30~)	×	笹井/古舘	×	笹井/古舘	笹井/古舘
小児科	一般 (午前)	8:00~11:00 (9:00~)	大沼/ 非常勤医師	久間木/大原	大沼健兒	大原/大沼	久間木/ 非常勤医師
	一般 (午後)	15:00~16:00 (15:00~)	久間木/大沼				大原/久間木
	心臓外来	13:00~15:00 (13:30~)	×	大原朋一郎	×	×	×
	血液免疫	13:00~15:00 (13:30~)	×	久間木悟	×	×	×
産婦人科	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木	戸澤/廣木	
泌尿器科	8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	川村裕子	川村/ 非常勤医師	和泉卓司	
眼科	13:00~16:00 (13:30~)	×	非常勤医師	×	非常勤医師	×	
耳鼻咽喉科	13:30~16:00 (14:00~)	非常勤医師	×	非常勤医師	×	非常勤医師	
歯科口腔外科 (予約・紹介のみ)		8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/樋口	伊藤/樋口	伊藤/樋口	伊藤/樋口	伊藤/樋口
		13:00~16:00 (13:30~)	樋口景介	樋口景介	×	樋口景介	樋口景介

- 緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。
- 電話による予約受付はいたしていません。
- 予約変更の受付は、平日の午後2時から4時までとなっております。

なお、時間・医師等については、変更となる場合がありますのでご了承ください。

みやぎ県南中核病院 〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1 TEL.0224-51-5500(代表)